

表 47 2014年末わが国の慢性透析療法の現況(所在県別)宮崎県
45 宮崎県

透析施設の現況(施設調査票より)	
施設数	62
ベッドサイドコンソール	1,729
同時透析	1,710
最大収容	4,999

透析患者数(施設調査票より)						
	通院		入院		合計	
昼間	2,954	(84.09)	292	(95.42)	3,246	(85.00)
夜間	506	(14.40)	12	(3.92)	518	(13.56)
在宅	0	(0.00)	0	(0.00)	0	(0.00)
腹膜透析	53	(1.51)	2	(0.65)	55	(1.44)
合計	3,513	(100.00)	306	(100.00)	3,819	(100.00)

かっこ内は列方向の合計に対する%です。

新規導入、死亡患者数(施設調査票より)	
導入患者	437
死亡患者	359

腹膜透析に関する患者数(施設調査票より)	
HD、HDF等とPDを併用している患者数	7
腹膜カテーテルを残している洗浄患者など	0
腹膜透析新規導入、年内脱落患者数	4

(C)Japanese Society for Dialysis Therapy
2014年末調査

透析従事者数(施設調査票より)							
	医師	看護師	臨床工学士	栄養士	ケースワーカー	その他	合計
専従	49	589	70	19	2	50	779
兼務	88	242	32	45	14	48	469
合計	137	831	102	64	16	98	1,248

透析歴別人数(患者調査票より)									
透析歴	男性		女性		合計		記載なし		総計
2年未満	504	(22.42)	312	(21.18)	816	(21.93)	0	()	816 (21.93)
2年～	539	(23.98)	288	(19.55)	827	(22.23)	0	()	827 (22.23)
5年～	544	(24.20)	349	(23.69)	893	(24.00)	0	()	893 (24.00)
10年～	286	(12.72)	216	(14.66)	502	(13.49)	0	()	502 (13.49)
15年～	152	(6.76)	122	(8.28)	274	(7.36)	0	()	274 (7.36)
20年～	90	(4.00)	87	(5.91)	177	(4.76)	0	()	177 (4.76)
25年～	57	(2.54)	47	(3.19)	104	(2.79)	0	()	104 (2.79)
30年～	46	(2.05)	39	(2.65)	85	(2.28)	0	()	85 (2.28)
35年～	27	(1.20)	12	(0.81)	39	(1.05)	0	()	39 (1.05)
40年～	3	(0.13)	1	(0.07)	4	(0.11)	0	()	4 (0.11)
合計	2,248	(100.00)	1,473	(100.00)	3,721	(100.00)	0	()	3,721 (100.00)
不明	0		0		0		0		0
記載なし	0		0		0		0		0
総計	2,248		1,473		3,721		0		3,721
平均	7.79		8.75		8.17		0		8.17
標準偏差	8.17		8.47		8.30		0		8.30

かっこ内は列方向の合計に対する%です。

最長透析歴(患者調査表より)	
最長透析歴	41年0ヶ月